

AKITA JC NEWS

<http://www.akitajc.jp>

<2007年度スローガン>

Let's55「青年RASHIKU」
～おらかな風 あきたから～

発行人/塩藤 文仁 発行所/(社)秋田青年会議所 総務広報委員会
事務局/秋田市山王2-1-54三交ビル3F TEL018-824-7070

No.4-2007

平成19年4月30日発行

創立55周年記念式典及び祝賀会・講演会のご案内

「創立55周年記念講演会」を下記の日程にて開催いたします。本年(社)秋田青年会議所は『Let's55「青年RASHIKU～おらかな風秋田から』をスローガンとし、社会変革運動を展開しております。創立55周年を迎えるにあたり、「創立55周年記念講演会」を開催するはこびとなりました。当日は作家でありコメンテーターとしてもご活躍されております室井佑月氏を講師としてお迎えし、地域の方々の心に残るような会にしたいと考えております。

<記>

記念講演会

日 時 / 2007年5月12日(土) / 13:00開場 13:30開会 15:10閉会

場 所 / 秋田市文化会館 講師 / 室井佑月氏

講演内容 / 「自分らしい子育て」

子育てについての室井氏の体験談を交えながら青少年教育に対するお考えをご講演していただきます。(入場料無料)

記念式典 会場 / 秋田市文化会館 時間 / 16:00から

祝賀会 会場 / 秋田キャッスルホテル 時間 / 18:00から

社団法人秋田青年会議所創立55周年記念講演会
室井佑月講演会
～自分らしい子育て～
日 時 2007年5月12日(土)
開場13:00 開会13:30 閉会15:10
会 場 秋田市文化会館大ホール
入場無料 (※、事前予約が必要です。)
チケット応募方法
申込は下記Eメール、FAX、電話、郵送、秋田青年会議所へお問い合わせください。申込用紙は、随時発行いたします。定額に限り応募はできません。
申込先
社団法人秋田青年会議所事務局
〒990-0021 秋田市山王2丁目1-54 三交ビル3F
TEL 018-824-7070 FAX 018-824-7071
http://www.akitajc.jp
主催：社団法人秋田青年会議所
協賛：秋田県庁(あきたRASHIKU)事務局
Real Action with Sincerity, Kindness and Understanding

4月例会を終えて



去る4月12日(木)、秋田キャッスルホテルにおきまして、JCIユニバーシティジャパンのプログラム「パーソナルダイナミクス」を実施致しました。

JCIユニバーシティジャパンよりトレーナーとして(社)半田青年会議所OBの山内新人先輩、(社)守口青年会議所OBの越智昌彦先輩をお招きし、メンバーとの活発な交流を通じ、終始和やかで有意義な例会となりました。グループ分けにより、普段なかなか交流できないメンバー同士が、夢について語りあえたことも良かったと思います。

このプログラムの主旨は、個人の持っている潜在能力を最大限に活用していこうという内容です。それをどうやって習得し、目標達成に向けての方策をたてれ

ばよいのか、時間の都合上、きっかけとなる部分しかお話は聞けませんでした。とても分かりやすい説明で今後、自分自身仕事に生かしていこうという気持ちになった事はこの上ない成果だったと思います。「出来ない」という気持ちから「出来る」という心を持てば、私たちは、より積極的な行動がとれるようになると思います。

JCメンバーの皆さん、最初の一步がでない次の二歩目がでてきません。後ろに下がっても一步は一步です。今後の夢や目標に向かって失敗を恐れずに先ず

は一步を踏み出して行きましょう!

最後になりますが、当日お忙しい中お越しいただきました、山内先輩、越智先輩、そして、ご参加いただいたメンバーの皆様、深く感謝を申し上げます。

人間力推進委員会 委員 天野 良喜



地域連携推進オープン委員会Ⅰ 職場体験についての意見交換会を行います

「働くことの大切さ」を早い段階で子供たちに理解させるためには中学生からの職場体験が必要だと教育関係者は考えています。しかしその一方で、教育機関と地域企業の間には接点が少ないという現状があります。この意見交換会では、教育関係者の他、商工会議所青年部・港商友会からも代表をお招きし、教育・企業両

者の認識の差を埋め、学校のニーズに地域がいかに連携して応えていくかを探ります。

日時：5月17日（木） 18：30～21：00

会場：秋田キャッスルホテル

地域連携推進委員会 委員長 渡辺 毅

オープン委員会Ⅱを終えて

4月9日（月）19:00より秋田キャッスルホテルにて、世代間協働事業に関する意見交換会を開催致しました。JC内外から50名に参加いただきまして、闊達な意見交換をすることが出来ました。

10月に実施予定であります世代間協働事業ですが、企画段階から地域住民参画型の事業として、各方面から幅広く意見を収集しております。事業の内容も具体的になりつつありますが、10月ま



で残された時間は限られております。あきたをより良いちにするために、地域住民の方々と協力して、事業の企画・実施に繋げてまいります。皆様のご協力よろしくお願い致します。

世代間協働推進委員会 委員長 進藤 史明

サケの稚魚放流事業を終えて

4月7日（土）旭川の添川飛鳥田河川敷公園において、第27回サケの稚魚放流事業を例年通り開催いたしました。当日は晴天にも恵まれ、例年になく500名近い多くの方が参加されました。

今年は地域連携推進委員会によるチューリップの苗植え同時に行いました。また、旭川小学校5年生による「環境」をテーマにした旭川の学習発表もしていただきました。演劇を混ぜた発表は、見ていてとても感動しました。

旭川小学校の発表の後、集まった子供たちにサケの稚魚を放流していただきました。子供たちからは、「お魚さんも大切な命なんだ。」「いっぱい帰ってきてね。」「また、会おうね。」などという声が聞けて、とてもうれしく思い、この事業の大切さを実感しました。

秋田県花いっぱい運動の協力をいただいたチューリップの移植も予想以上の参加者があり、すぐに用意した数量が無くなってしまいました。植えていただ



いたチューリップは、山王幼稚園さんで育てていただいております。

秋田市長を始め多くの秋田市各部署、秋田県花いっぱい運動の皆様、秋田市立旭川小学校様のご協力・ご支援誠にありがとうございました。また、OBの皆様と会員の皆様の多数の参加とご協力・ご支援のおかげで、事故も無く事業を終える事ができました。本当にありがとうございました。

地域環境委員会

副委員長 鈴木 亮



特集：マスコミに伺いました

第4回

秋田魁新報社 報道本部長

佐川 博之 様

(さがわ ひろゆき)

- 国安：**どうぞ宜しくお願いいたします。早速ですが、JCという組織はご存知でしたか？
- 本部長：**記者なら大概は知っているし、JC関係者とも交流があるんじゃないですか。
- 国安：**ご出身は秋田なんですか？
- 本部長：**生まれたのは北海道の千歳ですが、幼稚園から高校まで秋田。生粋の秋田人です。
- 国安：**連載4回目にして初の秋田出身者からのお話ですね(笑)
- 本部長：**JCといえば、高校の同期だった高橋豊彦君や猿田五知夫君らが理事長で頑張っていましたよね。私はそのころ、中堅記者として責任の重いポジションに就いたところで、同期の彼らの存在はいろいろな意味で励みや刺激になりましたね。
- 国安：**本部長は主に秋田県内を回られたんですか？
- 本部長：**そうですね。社会部が振り出しで、警察担当やスポーツ担当が主でした。支局は本荘、角館、能代を回り、県政クラブでは福祉を担当していました。平成8年にはさがけスポーツの創刊にも携わりました。入社以来新聞の編集に携わっていたとはいえ、一からの新聞づくりは初めてで、とても得がたい経験でした。
- 国安：**各方面からの情報がたくさんある中、新聞紙上でJCの記事をかなり掲載いただいているのは、理事長からの「お願い」とかがあったからなんですか？
- 本部長：**直接的なお願いはなかったなあ。ニュースリリースは記者クラブへの投げ込みや、郵送、FAX、メールなど1日でもかなりの量になるんですよ。それを担当部署ごとに選別しています。すべてを取材対象にすることは物理的に不可能で、ニュース性があるかないかで判断しています。リリースを流す側の「人」の存在も大きいですね。直接足を運んで説明してくれる方々は印象に残りますね。
- 国安：**そうですね。皆さんそうおっしゃいます。JCの場合、主催する事業と、私たちの顔とが直接結びつかないようなんですよ。
- 本部長：**JCの役員は1年で交代するんでしょう？ せっかく知己を得たのに代替わりすると交流が希薄になり、何年かすると全く疎遠になってしまう。もったいないですよ。JCの方々は、われわれマスコミを含めて、対外的な活動を通じて築いた人脈をうまい具合に内部で継承していくことが大事なんじゃないかな。人



脈は財産だし、どこの組織でも「情報の共有」は重要ですからね。

- 国安：**そうですね。私がいくらすばらしい出会いをしても、他の役員がその相手を知らなければ本末転倒ですものね。そういった意味では、お互い楽しめる車座の懇親会なんていいんじゃないでしょうか。

- 本部長：**ああ、いいかもしれませんね。私は大歓迎です(笑)。組織対組織といったふうに大上段に構えなくても、取材現場でもつながりは深められるはずですよ。

- 国安：**そうですね。取材にきていただいた記者の方々とお話ししますものね。

- 本部長：**うちの会社は基本的に県内出身者が多いですから、話をしても共通項が多いはずですよ。互いにそんな現場の交流の積み重ねが大事だと思いますね。

- 国安：**ところで、過去3回のお相手が県外の方で、秋田に元気がないんじゃないかという問いかけをいただいております。その辺はどう感じていますか？

- 本部長：**う～ん、確かに「元気いっぱい」とは言えないね。秋田県人の気質とかDNAが元気づくりを阻害しているという人がいるけれど、パソコンで世界中がつながり、情報が満ち溢れている時代に、「秋田県人だから」なんてくくりは存在しないはずですよ。自分に何ができるのかを考え、知恵と工夫を持って、できる範囲でまず第一歩を踏み出すこと。そこに共感が生まれ、仲間が増えるかもしれない。何をやるにも誰かがやってくれる時代は終わったと考えなきゃ。自分が住む地域を卑下するような言い方をする人もいるけれど、それもどうか。足元を見詰め直し、地域の元気をつくるのは自分たちだと、思考のベクトルを変えないとね。

- 国安：**秋田県民、JCメンバー自身も秋田の可能性に気づけということですね。

- 本部長：**今話題の子育て支援に関しても、増税問題が出てしまっているから本質論に入れない。今、本当に必要なのは子育て世代への「支援」なのか、子どもを生き育てやすい「環境」なのか。子育て世代が多いJCメンバーも、もっと市民を巻き込む形でいろんなイベントを仕掛けてもいいんじゃないかな。

- 国安：**そうですね。関係しますけれど、実は来月55周年事業として室井佑月さんに「私の子育て」という講演をしていただくんですよ。メンバー自身ももっと子育てについて考えなくてはいいけませんね。あ、私ですか・・・？ 今日ありがとうございました。

(聞き手) 総務広報委員会 委員長 国安 忍

続きは
WEBで!

JCスクールを終えて

4月6日（金）JCスクールが開催され、JCの面々が仮会員に対しJCの仕組みや歴史、事業等について説明しました。今回は、仮会員最年少である高橋優さんから感想をいただきました。まだ入会もしていない彼に、早速「修練の場」が与えられたのでした……。

JCには「JCソング」「JC宣言・綱領」「JCIクリード」というものがあり、気持ちを切り替えるために、最初は必ずこれらを全員で唱和するのだそうです。僕たちが練習したとき、JCソングやJC宣言・綱領はよかったのですが、なんとJCIクリードは英語の長文を唱和しなくてはなりません！ とても衝撃的でした。JCIクリードとは「理念」のことで、6節から構成されていますが、日本語でも難しい内容を英語で唱和しなくてはならず、とても大変でした。きっとみなさんも苦労して覚えたに違いないと思いました。



JCの歴史についても説明いただきました。今年55周年を迎えるだけに、様々な歴史と



事業があったのだと感心しました。昨年の除雪活動の話を書いたとき、地域と密に接し、行動している秋田JCの名を汚すことは決してできないと思いました。

なんとと言ってもこの日のメインイベントは仮配属の発表です。次々と決まってく中、僕は55周年運営委員会に決まりました。委員長である田口さんが笑顔でこう語りかけてくださいました。「橋君、よろしく。みんな強面ぞろいで、来月の周年は失敗が許されない委員会なんだ。あははは！」笑顔で言うことじゃないでしょお～！ まだ何もわかりませんが、とにかくがんばります。最年少ですがよろしく願いいたします。
仮会員 高橋 優

面接式を終えて

3月28日に下期入会希望者の面接式が開催されました。今回は目標の15名には届かなかったものの、下期入会希望者として10名のみなさまに参加していただきました。三役の方々による面接では皆さん大変緊張した面持ちでした。名刺交換会に入るとようやく緊張も解けて笑顔が見られるようになり、設営側としてもほっとしました。各自のスポンサーからメンバーに紹介してもらいながら名刺交換している姿を見て、自分の

ときはたくさん名刺交換したけど顔を覚えるのが大変だったことを思い出しました。

まあ、徐々に覚えていくので入会希望者の皆さんあせることはないですよ。積極的に出てきていただければメンバーからも早く名前と顔も覚えてもらえますので、今後も時間を作って参加してくださいね。ともに楽しいJCライフを過ごしましょう。

会員拡大会議 四津谷 優伸

新事務局員紹介

2月13日より勤務させていただいております、石野谷志保子さんの後任の松澤瑠美（まつざわるみ）と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。事務局でお仕事をさせていただくようになって2ヶ月が経とうとしております。一般企業では経験できないことを経験させていただいており、これからも色々なことを経験させていただけると思う

と、毎日がとても楽しみです。

会員の皆様には、すでに多々ご迷惑をおかけしております。1日も早く仕事を覚え、少しでも皆様にご迷惑をおかけしないよう、また、皆様のお役にたてるよう、一生懸命がんばります。



ホームページを見られない方へ

ホームページをご覧いただくことが出来ない方はFAXにてお送りいたしますので、事務局へお問合せください。大好評！秋田JC便り毎週更新中！ 秋田JCの今がわかる旬のブログ。今週も更新中です！是非ご覧ください。

編集後記

いよいよ55周年記念式典および祝賀会まで残りわずかとなりました。リハーサルも終わり本番を迎える準備は万端だと思えます。当日はおもてなしの心をもつ

て全員で対応いたしましょう。

総務広報委員会 副委員長 本田正博